

JA鹿児島いずみによる 「担い手コンサルティング」の効果を実感

JAグループ鹿児島では、担い手とJA事業の成長を目指す「担い手コンサルティング」を行っています。担い手が抱える経営課題を可視化し、JA信用部門と営農経済部門、また、信連と中央会営農サポートセンターが連携して担い手の課題解決に取り組んでいます。

担い手コンサル



【大久保氏と妻の友恵氏（写真奥）】

課題

法人化を検討しているが、漠然とした目標であり、現段階における対応が不明瞭

生産技術向上に向けて試行錯誤しているが、「現在の生産方法」について不安がある

解決策

メリット・デメリット等を把握
法人化への道筋の理解

JA鹿児島いずみ管内の優良農家との
勉強会を定期開催

財務状況および法人化のメリット・デメリット等を把握。今後の方向性を決める材料の一つに。ミニトマトを手がける大久保氏は、法人化すべきかどうか悩んでおり、JAが相談を受け、担い手コンサルティングを提案。「法人化について学べるなら」と導入。担い手コンサルティングの中で、財務分析による経営状況の把握や法人化のメリット・デメリットの説明を実施。現在の経営状況の可

視化や法人化への道筋の理解により、大久保氏の今後の方向性を決める材料の一つとなった。



【担い手コンサルティング面談中の様子】

営農技術不安解消のため、JA鹿児島いずみ管内の優良農家との勉強会開催。

担い手コンサルティングの面談を重ねるなかで、大久保氏より「管内の優良農家の技術面や取り組み姿勢を学びたい」とあったことから、戸営農指導員を中心に管内の優良農家であり、普段より大久保氏と親交のある末野氏との勉強会を提案。大久保氏から「技術面や作付スケジュールなど、これまで不安を覚えることが多かったが、勉強会を通して不安な部分を聞くことができ、助かっている。」と営農技術の不安解消に繋がっていると実感。また、指導を行った末野氏は、「大久保氏の圃場に行き、大久保氏が頑張っているところを見ると、自分もまだ負けてられないといった気持ちになり、刺激になっている。」と末野氏自身も大久保氏の頑張り刺激を受けており、実のある勉強会になっていると感じた。



【勉強会・営農指導を行った末野氏】

担い手コンサルティングを通じて（大久保氏より）

「担い手コンサルティングとはどういったものか初めは分からなかったが、抱えていた不安や悩みに対して、一緒に解決するために考えてくれる良い取り組みであると思った。また、JAグループには、想像以上に多くの専門家がおり、営農以外の不安や悩みも相談してみれば、解決してくれるというJAに対する安心も感じた。」



【末野氏より営農指導を受けている様子】

【担い手情報】

大久保 力 さま

事業内容

- ✓ 出水市でミニトマトを栽培。
- ✓ JA鹿児島いずみ管内でも有数の経営規模を誇る。

Field Notes

普段から大久保氏の営農にかかる悩みを聞き、営農指導を行ってきたが、担い手コンサルティングの導入により、

営農面以外の提案が出来てよかった。また、担い手コンサルティングを通して、信用部門と担い手コンサルティングチームとして、担い手の課題解決に

向けて取り組んだことにより、信用部門の担当者に気軽に相談しやすくなり、より総合事業が活かされやすい環境になったと感じた。

他の営農指導員とも、担い手コンサルティングを実践し、信用部門との結びつきがより強固になれば、JAの強みを最大限発揮していけると思った。

JA鹿児島いずみ 営農指導員
戸 職員

